



台風

江別 三宅 浩次

台風の衛星写真に大きな目この大きさが恐怖を誘う
先週の21号を追いかけてこの24号の憎らしきこと
わが家の先祖の墓を揺さぶってあの台風の罰当たり野郎
台風の風に倒されボプラ木は根を上にして天を仰ぐか
台風の一過というが白々しい天の青さに文句言いたし

スギナ

札幌 浜島 泉

乾かびけるスギナを燃ゆる火に焼くべて 線香花火の音を彷彿
移植して消滅するを恐れしに シラネアフリの萎なゆるもなく
庭先に食事テーブルしつらへて焼肉パーティー 風にて延期
陽光の失せぬうちにと 立秋にヂンギスカンのガーデン宴
わが刻むリズムに合はせ体操す ラヂオなくとも体悟りて

秋色

釧路 児玉 昌彦

浜おおう紅き絨毯 サンゴ草 遡上の鮭と同じ赤にて
陽の光見る角度でも違う色 浜の紅葉 冬ま近なり
変哲あのなき紅葉も明日待たずこのひとときと思えばいとし
紅あかに黄に褐色になりて落ちし葉の呻き聞こゆる葉ずれの合間に
葎原あの秋の夕陽は鴨の群れ率いて湖に身を投げんとす

災害

北広島 古屋雅三知

連日の台風地震凄まじく 都市のインフラ機能喪失
早朝に大きく揺れる地震あり 帰る術すべ無く現地に足止め
麻痺したる都市の機能を見下ろすは 藻岩の山の晴れ渡る空
商品も求め ガソリンスタンド・スーパーと 朝早くより列長々と
さいわいに我が家の被害は軽微なれど わが部屋震度7で変わらさず

菊枕

函館 水関 清

それぞれの 旅の思い出満載し 尾灯で埋まる上り高速
微風には頷き揺れて 野分には地を這うごとき 秋桜の花
きやあきやあと 嬰兒やの声する魚市場 乳母車で笑む看板娘
七五三 買って貰あいし千歳飴 地を擦るたびにまた持ち上げて
曲がる度 街の秋色切り取りて 夕陽の車庫へ電車戻り来

白百合

旭川 稲積 文子

垣根より首を伸して白き百合 吾が家の一員の様な顔して
好き勝手伸び放題の庭の樹々 それでも吾に何かささやく
猛獣の幼き顔はやさしかり されど宿命の怖さを秘めて
ピョンピョンと陽気を浴びてたわむれる 鴉は一羽飛ぶを忘れて
「もうおねがいゆるして」とノートに残し 世を去った
赦あせないは動物以下の両親